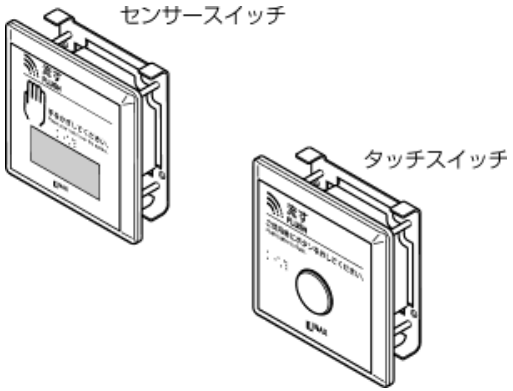
PMF-1071J(13041)

施工説明書

大便器自動洗浄システム
オートフラッシュ C セパレート形

■ 操作部

OKC-2S 型 /OKC-2B 型
センサースイッチ / タッチスイッチ



このたびは当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

- **この商品は、オートフラッシュ C セパレート形自動フラッシュバルブ（別売）と組み合わせて使用します。この施工説明書とオートフラッシュ C セパレート形自動フラッシュバルブの施工説明書を合わせて、よくお読みのうえ正しく本商品を施工してください。**
- **施工後は必ず試運転を行ってください。**
- **お客さまに必ず本書と取扱説明書および保証書をお渡しください。お渡しするときは、使用方法をご説明ください。**

商品・施工方法についてのお問い合わせは、お客さま相談センターまで　　ナビダイヤル　TEL 0570-017-173

受付時間　平日 9:00 ～ 18:00　土・日・祝日 9:00 ～ 17:00（ゴールデンウィーク・夏期・年末年始の休みは除く）

安全上の注意（必ずお守りください。）

●施工前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●施工完了後、正常に作動することを確認するとともに、取扱説明書にそってお客さまに使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
●この施工説明書は取扱説明書と共にお客さまで保管頂くよう依頼してください。

用語および記号の説明

⚠警告	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。
⚠注意	取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。
禁止	この表示は、してはいけない「禁止」の記号です。
指示実行	この表示は、必ず実行していただく「強制」の記号です。

⚠警告

浴室など湿気の多い場所には設置しないでください。
※感電・火災の原因になります。

水場使用禁止

水や洗剤をかけないでください。
※電気製品ですので、感電・火災の原因になります。

水かけ禁止

中継ケーブルをはさんだり、傷付けたりしないでください。
※故障・感電の原因になります。

禁止

異電圧の電源での使用は避けてください。
※火災の原因になります。

禁止

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理、改造を行わないでください。
※故障・感電の原因になります。

分解禁止

⚠注意

強い力や衝撃を与えないでください。
※故障・水漏れの原因になります。

禁止

仕様

品番		センサースイッチ		タッチスイッチ	
		OKC-2SP	OKC-2ST	OKC-2BP/OKC-2BPJ	OKC-2BT/OKC-2BTJ
タイプ		パーティション壁用	タイル壁用	パーティション壁用	タイル壁用
寸法		120（幅）x10（奥行）x120（高さ）mm			
埋込部		94（幅）x35.5（奥行）x94（高さ）mm			
洗浄水量調整範囲	大	8～16L 調整可能（出荷時 10L 設定）			
	小	6～16L 調整可能（出荷時 8L）		−	
電源		AC100V, 50/60Hz（自動フラッシュバルブ側に内蔵）			
消費電力		常時：3W 以下、バルブ作動時：5W 以下		常時：2W 以下、バルブ作動時：4W 以下	
中継ケーブル長さ		5m			
感知距離	人体	500～800mm で 4 段階調節可能（白紙 200mm 角の場合）（出荷時 800mm）		−	
	手かざし	60mm 固定（グレー紙 80mm 角の場合）		−	
人体感知確定時間		6 秒以上		−	
手かざし感知時間		1 秒、2 秒に設定可能（出荷時 1 秒）		−	
大小判定時間		50 秒、120 秒、150 秒に設定可能（出荷時 50 秒）		−	
自動洗浄開始時間		人体感知が切れてから 1 秒、10 秒、180 秒、自動洗浄なしに設定可能（出荷時 10 秒）		−	
各種機能		・**手かざし**：入 / 切 可能（出荷時 入） ・**大小洗浄**：大小 / 大 切替可能（出荷時 大小） ・**掃除洗浄**：掃除用磁石スイッチで任意に機能停止復帰が可能。また機能停止 4 分後に、自動復帰		−	
初期洗浄		入 / 切 可能（出荷時 入）			
二重洗浄防止		1 度洗浄を行うと、10 秒経過しないと、次の洗浄を行わない			
設備保護洗浄		24 時間使用しない場合、1 回洗浄　入 / 切 切替可能（出荷時 入）			

準備工具

プラスドライバー

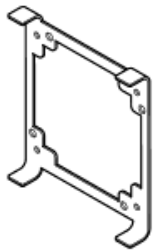
精密ドライバー（−）

取付け前に

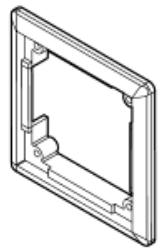
商品をダンボール箱から取り出す際、操作部の配線が箱にひっかからないように注意してください。
※断線の原因になります。

1. 部品の確認

次の部品があることを確認してください。



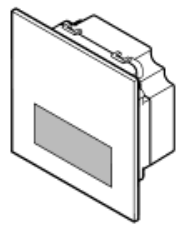
取付板

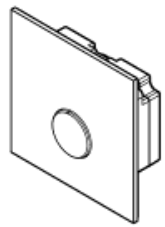


フレーム

取付ボルト（4 本）

中継ケーブル（5m）





（センサースイッチの場合）　（タッチスイッチの場合）

表面プレート

養生カバー
（タイル壁用の場合）

吸盤
（品番：A-1886）

シール
（センサースイッチの場合）

施工説明書

取扱説明書

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

取付け前に（つづき）

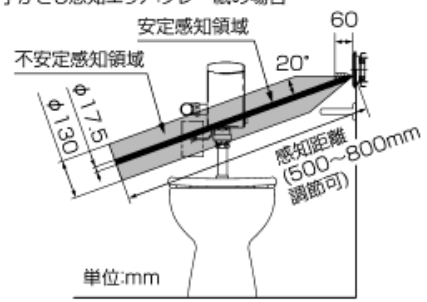
この商品は、自動フラッシュバルブ（別売）と組み合わせて使用します。自動フラッシュバルブの施工説明書と合わせてご覧ください。

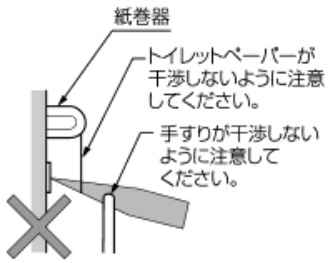
2. 取付条件の確認

●下図 A・B の場合はセンサースイッチを取り付けできませんので、事前にご確認ください。

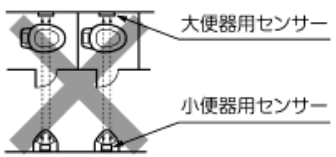
A. 不安定感知領域内に障害物がある場合

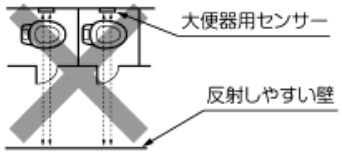
センサー取付位置
人体感知エリア:白色紙の場合
手かざし感知エリア:グレー紙の場合





B. センサー正面の壁がステンレスなど反射しやすい場合や、センサー同士が対向する場合





●自動フラッシュバルブ本体には、操作部 (タッチスイッチ又はセンサースイッチ) のどちらか一方を接続します。2 台併設する場合には、併設用ケーブル（品番：A-5053、別売）を使用してください。

●自動フラッシュバルブ本体と操作部（タッチスイッチ又はセンサースイッチ）の接続コードは付属の中継ケーブルをご使用ください。また、誤作動する恐れがありますので付属の中継ケーブルの延長は行わないでください。

●パーティション壁の場合は、パーティション壁の中に中継ケーブルとコネクタが通せることを事前に確認してください。

●パーティション壁の場合は、操作部（タッチスイッチ又はセンサースイッチ）を固定のための奥行寸法が 36mm 以上必要です。

●現場手配の電線管、電線管コネクタ、ボックスは必ず以下のものをご使用ください。

電線管	**合成樹脂製可とう電線管（JIS C8411 呼び 16）**
電線管コネクタ	**合成樹脂製可とう電線管用付属品（JIS C8412 呼び 16）**
ボックス	**JIS C 8340 中形四角アウトレットボックス（タイル壁用の場合）**

3. センサーについて

●太陽光が入る場所では太陽光の影響でセンサーが作動（感知）しない場合があります。

●蛍光灯や太陽光などがセンサーに直接入らないように施工してください。

●男性が立位で小用を足す場合は、センサーの取付位置の関係より、使用者を感知することができません。

●施工の際にセンサーの裏面を傷つけないよう十分ご注意ください。

●センサー窓に傷を付けたり、目隠しをしたりしないでください。汚れも含め、誤感知や感知しないことがあります。

●インバータ照明や赤外線を用いた他の機器により誤作動することがあります。

4. その他

●水道工事と電気工事は、工程を十分打ち合わせた上で、行ってください。

● TOTO 製衛生陶器に取付ける場合は、TOTO がカタログ等で推奨している大洗浄水量を参考に調節してください。

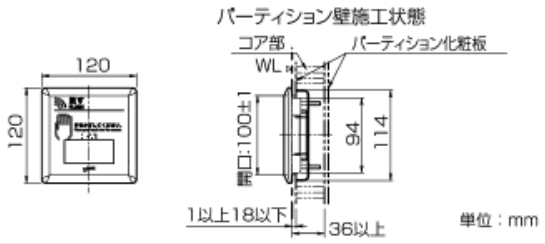
●初期洗浄は電源投入後、一度だけ自動的に大洗浄する機能です。

●汚物流し（S-203U 等）と組合せる場合、取付位置の関係上、自動洗浄に対応できません。手かざしセンサーまたは手動洗浄ボタンでの洗浄となります。

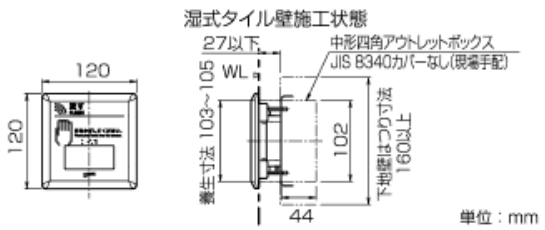
商品図

■センサースイッチ

OKC-2SP（パーティション壁用）

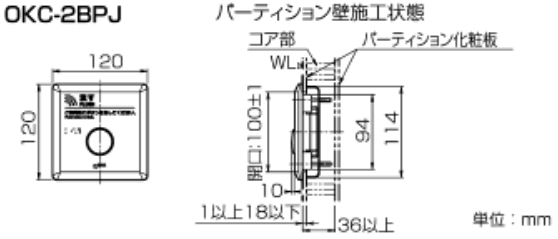


OKC-2ST（タイル壁用）

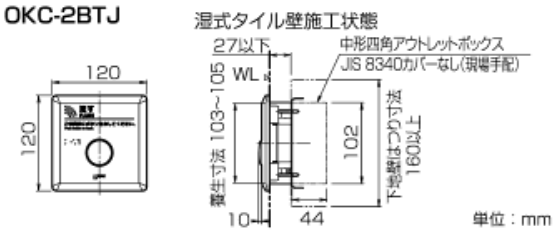


■タッチスイッチ

OKC-2BP （パーティション壁用）
OKC-2BPJ



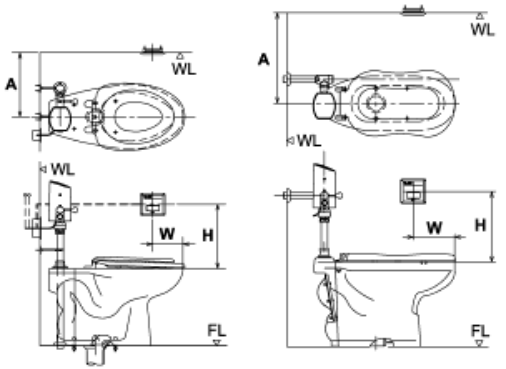
OKC-2BT （タイル壁用）
OKC-2BTJ



完成図

※ 品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

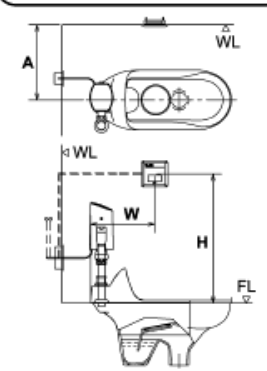
洋風便器とセットする場合



A 寸法＝ 450 ～ 700 (mm)
H 寸法＝ 350 ± 30 (mm)
W 寸法＝ 150 ± 30 (mm)*

* C-35, 35K の場合は 200 ± 30 (mm)

和風便器とセットする場合



A 寸法＝ 450 ～ 700 (mm)
H 寸法＝ 600 ± 30 (mm)
W 寸法＝ 300 ± 30 (mm)

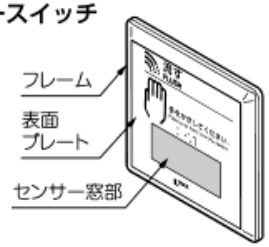
※センサースイッチ・タッチスイッチとも同条件

注意

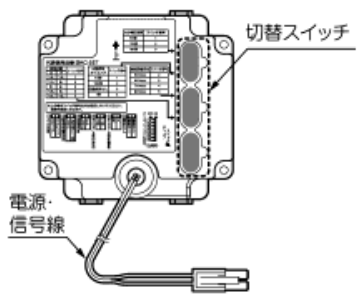
指定した寸法を外れると、センサーが正しく感知せず、誤動作する場合があります。

各部のなまえ

●センサースイッチ

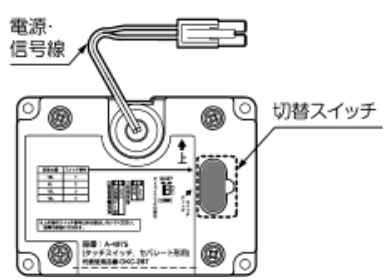


表面プレート裏側



●タッチスイッチ

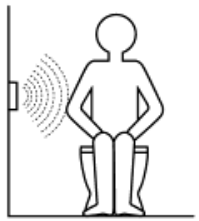
表面プレート裏側



ご使用方法

センサースイッチによる洗浄

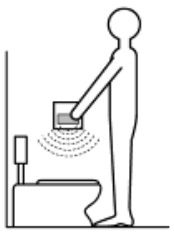
1. 人体センサーによる感知
衛生陶器に近づくと人体センサーが使用者を感知します。感知すると、センサー窓の感知表示ランプ（赤）が点灯します。


衛生陶器に腰掛けるとセンサーが感知

2. 手かざしセンサーによる洗浄
センサー窓から **5cm 以内**に **1 ～ 2 秒**手をかざすと、下記の洗浄水が流れます。

大小洗浄機能	人体センサーの感知時間	洗浄水量
大小モード	6 秒未満の場合	大
	6 秒以上 50 秒未満の場合	小
	50 秒以上の場合	大
大モード	——	大

※ 大小の判定時間は切替スイッチ（50 秒、120 秒、150 秒）で変更することもできます。


手をかざして洗浄

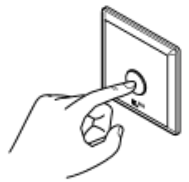
洗浄中は、洗浄表示ランプ（緑）が点灯します。

3. 自動洗浄
人体センサーが **6 秒以上**感知し、使用者が手かざし洗浄を行わないまま立ち去った場合、流し忘れ防止として **10 秒後**に自動洗浄します。この際の洗浄水量は手かざしセンサーでの洗浄水量と同じです。
※ 自動洗浄のタイミングは切替スイッチ（1 秒後、10 秒後、180 秒後、自動洗浄なし）で変更することもできます。

洗浄し忘れても感知時間に応じて自動洗浄

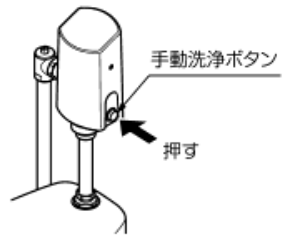
タッチスイッチによる洗浄

押ボタンを押します。
ご使用後に押ボタンを押してください。
洗浄水が流れます。



手動洗浄ボタンによる洗浄

手動洗浄ボタンを 3 秒以上押します。
使用中に停電や万一の故障のときには、手動洗浄ボタンを **3 秒以上**押して洗浄を行ってください。
※ 埋込形の手動洗浄ボタンは、ボックス内にあります。（図は露出形です。）

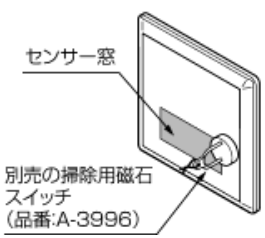


その他の機能

●設備保護洗浄機能
24 時間以上、洗浄が行われない場合、自動的に大洗浄が行われる機能です。この機能は入切可能です。ただし設備保護洗浄を行わないと、大便器が封水切れを起こす恐れがあります。

●二重洗浄防止機能
一度洗浄を行ったら、10 秒間経過しないと次の洗浄を行いません。洗浄開始から 10 秒間は洗浄表示ランプ（緑）が点灯します。

●お掃除モード機能
センサー窓の右側に別売の掃除用磁石スイッチ（品番：A-3996）を近づけると、感知表示ランプ（赤）が点灯し、一度大洗浄を行います。手かざしセンサーおよび人体センサー感知機能が停止します。4 分経過後または再度掃除用磁石スイッチを 1 秒以上あてると、再度大洗浄を行い、手かざしセンサー、人体センサー感知機能が復帰します。

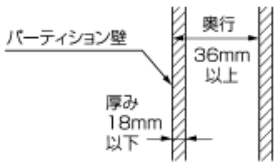


施工方法（施工方法は壁の種類により異なります。）

パーティション壁の場合 (OKC-2SP/OKC-2BP)

注意 漏電遮断器が切られていることを確認した上で、作業を行ってください。

※施工のための奥行寸法が 36mm 以上必要です。また、パーティション壁の厚みは 18mm 以下としてください。



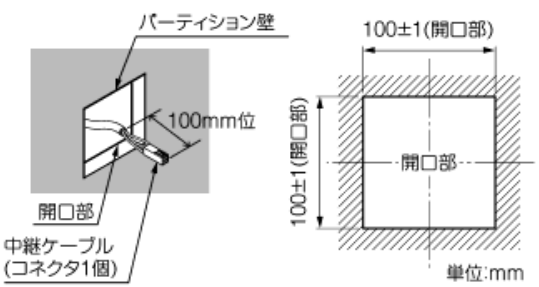
1 壁の下準備

❶ 取付位置に図のような開口部を設けます。

❷ 中継ケーブルを壁内に引き回します。

注意

- **中継ケーブルは開口部から最低でも 100 mm程度見えるように引き回してください。**
- **中継ケーブルのコネクタ 1 個側が操作部側になるように引き回してください。**
- **中継ケーブルは、コネクタ 1 個側を電線管に通してください。(コネクタ2個側は、電線管を通りません。)**
- **中継ケーブルの延長は行わないでください。故障の原因になります。5m 以上の中継ケーブルが必要な場合は、中継ケーブル（10m）（品番：A-4977-10）を別途手配してください。**

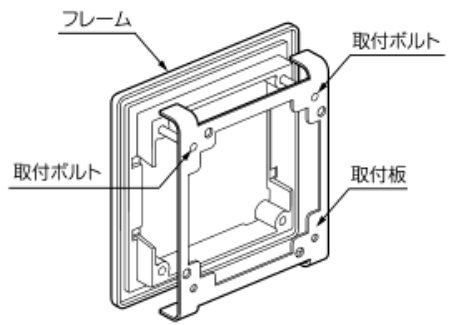


2 フレームの取付け

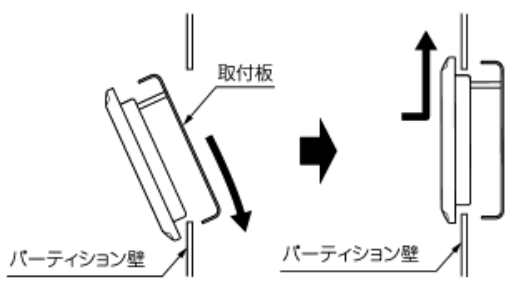
❶ フレームに取付ボルトを通して、取付板を仮止めします。下側はフリーの状態にしておきます。

※ フレームには方向性がありません。

※ 取付ボルトは、取付板からはみ出ないようにしてください。



❷ 取付板の下側を開口部に差込み、充分に内側に入れたら上側を押し込みながら上げ、壁に入れます。

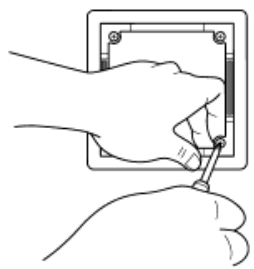


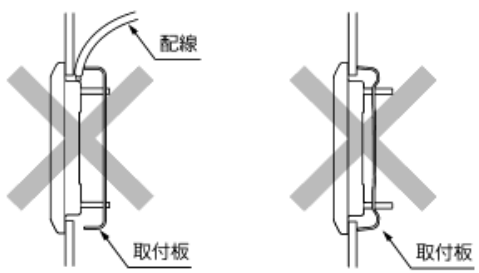
❸ フレームの下２か所に取付ボルトを取り付けます。

❹ フレームの位置を調節した後、取付ボルト（４か所）を均等に締め付け、フレームを固定します。

注意

取付ボルトを強く締め付けすぎないようにしてください。取付板が変形し、表面プレートが入らない恐れがあります。





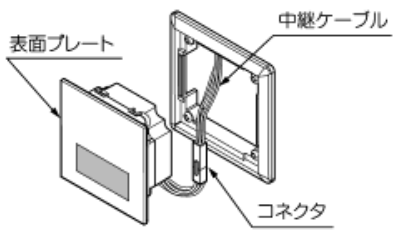
配線や中断ケーブルをはさまないように注意してください。漏電や感電の恐れがあります。

3 コネクタの接続

中継ケーブルのコネクタを接続します。

注意

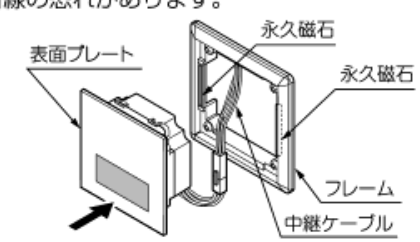
表面プレートを落下させるとセンサー表面が破損したり、コネクタが抜ける恐れがありますので、注意してください。



4 表面プレートの取付け

表面プレートをフレームの永久磁石に吸着させ、確実に取り付けます。

※中継ケーブルを無理に収納しないでください。
断線の恐れがあります。



湿式工法の場合 (OKC-2ST/OKC-2BT/OKC-2BTJ)

注意 **漏電遮断器が切られていることを確認した上で、作業を行ってください。**

1 取付板の取付け

❶ 下地壁に図のような開口部及び中心線を正確に墨出しし、はつります。

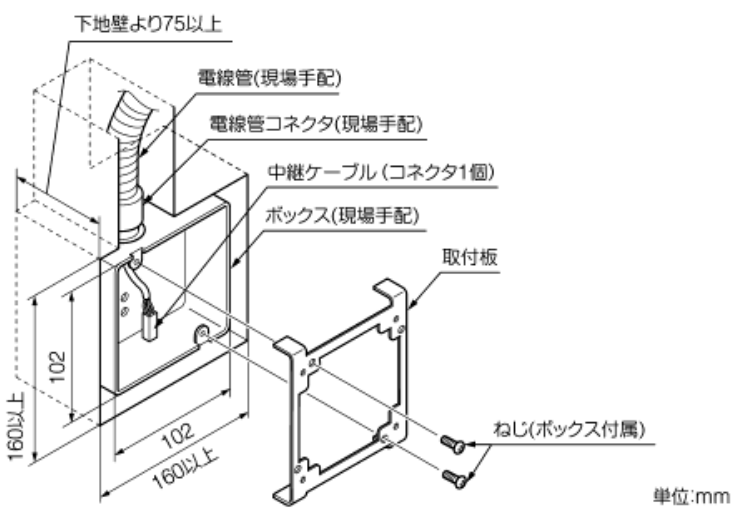
❷ 位置決めのため、**ボックス（現場手配）**に取付板をねじ（2 か所）で取り付けます。

❸ ボックスに**電線管コネクタ（現場手配）、電線管（現場手配）**を取付け後、介物やモルタル等でボックスを仮固定します。
※現場手配部品については「取付け前に」をご参照ください。

❹ 中継ケーブルをボックス内に引き込みます。

注意

- **中継ケーブルのコネクタ 1 個側が操作部側になるように引き回してください。**
- **中継ケーブルは、コネクタ 1 個側を電線管に通してください。（コネクタ 2 個側は、電線管を通りません。）**



2 壁の仕上げ

❶ 養生カバーのはくり紙をはがし、取付板に張り付けます。

❷ ボックスの周囲をモルタルで埋め戻します。

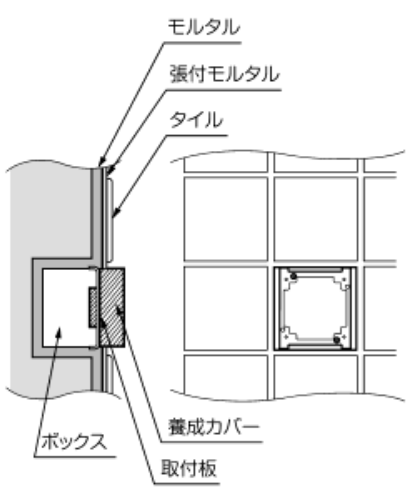
❸ 下地壁にモルタルを下塗りします。

❹ タイルを張付モルタルで張り付けます。

注意

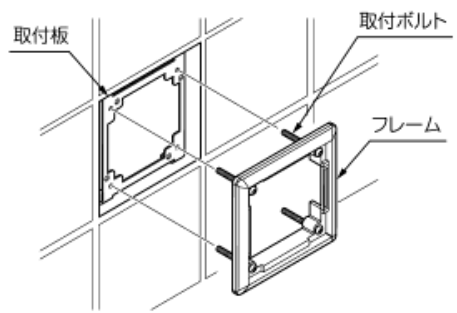
●タイルの水洗いはこの状態で行ってください。
●酸洗いは器具を傷めますので行わないでください。

❺ 養生カバーを壁面から取り外します。



3 フレームの取付け

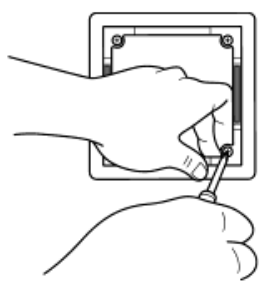
❶ フレームに取付ボルト（４本）を通して、取付板に仮止めします。



❷ フレームの位置を調整した後、取付ボルトで均等に締め付けます。

注意

取付ボルトを強く締め付けすぎないようにしてください。取付板が変形し、表面プレートが入らない恐れがあります。



❸ フレームと壁面の間を全周白セメントか非酢酸系のシール剤でシールします。

注意

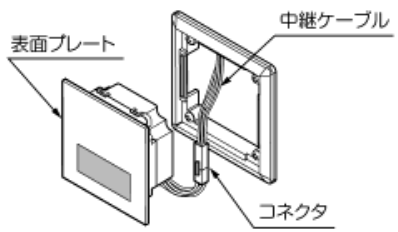
酢酸系のシール剤はフレームを傷めますので使用しないでください。

4 コネクタの接続

中継ケーブルのコネクタを接続します。

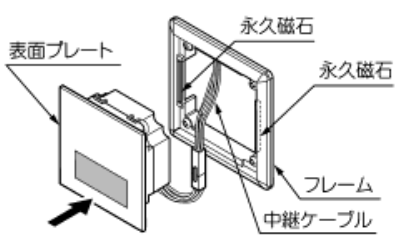
注意

表面プレートを落下させるとセンサー表面が破損したり、コネクタが抜ける恐れがありますので、注意してください。



5 表面プレートの取付け

表面プレートをフレームの永久磁石に吸着させ、確実に取り付けてください。
※中継ケーブルを無理に収納しないでください。
断線の恐れがあります。



乾式工法の場合 (OKC-2SP/OKC-2BP/OKC-2BPJ)

注意 **漏電遮断器が切られていることを確認した上で、作業を行ってください。**

1 取付板の取付け

❶ **ボックス支持金具（現場手配）**を使用し、軽量間柱（スタッド）に**ボックス（現場手配）**を固定します。
※現場手配部品については「取付け前に」をご参照ください。

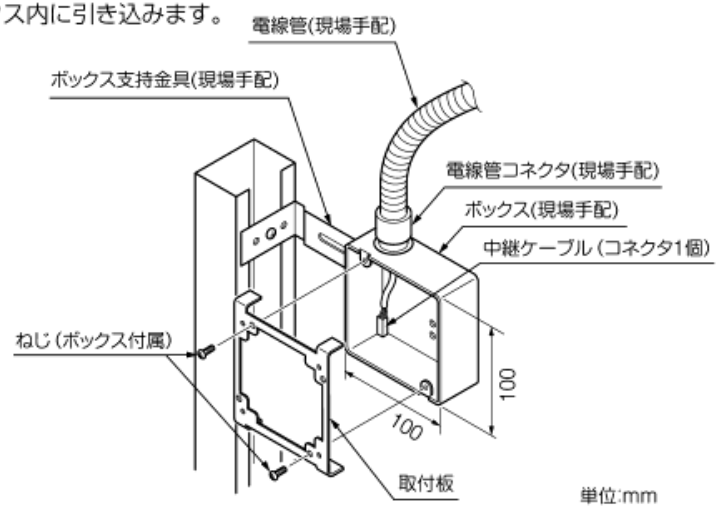
❷ ボックスに取付板をねじ（2 か所）で取り付けます。

❸ ボックスに**電線管コネクタ（現場手配）、電線管（現場手配）**を取り付けます。

❹ 中継ケーブルをボックス内に引き込みます。

注意

- **ボックスはタイル割りを考慮し、正確に位置決めして取り付けてください。**
- **中継ケーブルのコネクタ 1 個側が操作部側になるように引き回してください。**
- **中継ケーブルは、コネクタ 1 個側を電線管に通してください。（コネクタ 2 個側は、電線管を通りません。）**

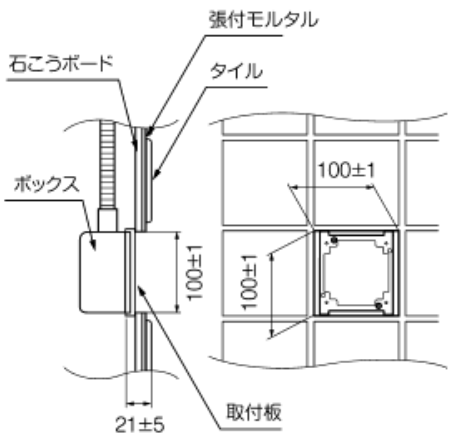


施工方法（つづき）

2 壁の仕上げ

❶ 石こうボードなどの下地ボードの所定の位置に（100 ± 1mm）X（100 ± 1mm）の開口を設け、下地ボードを施工します。

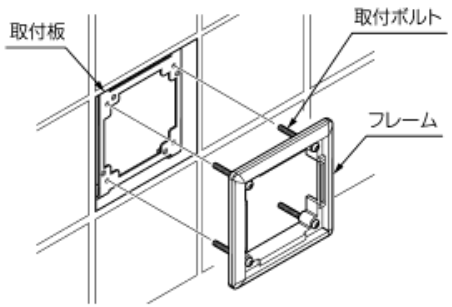
❷ タイルを張り、開口部の周囲を除いて目地詰めします。



単位:mm

3 フレームの取付け

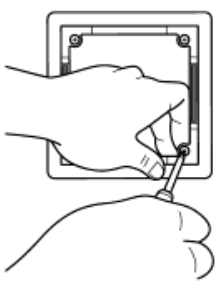
❶ フレームに取付ボルト（４本）を通して、取付板に仮止めします。



❷ フレームの位置を調整した後、取付ボルトで均等に締め付けます。

注意

取付ボルトを強く締め付けすぎないようにしてください。取付板が変形し、表面プレートが入らない恐れがあります。



❸ フレームと壁面の間を全周白セメントか非酢酸系のシール剤でシールします。

注意

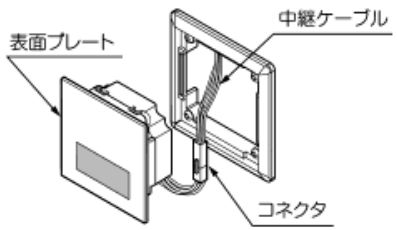
酢酸系のシール剤はフレームを傷めますので使用しないでください。

4 コネクタの接続

中断ケーブルのコネクタを接続します。

注意

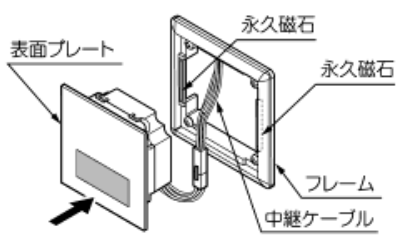
表面プレートを落下させるとセンサー表面が破損したり、コネクタが抜ける恐れがありますので、注意してください。



5 表面プレートの取付け

表面プレートをフレームの永久磁石に吸着させ、確実に取り付けてください。

※中継ケーブルを無理に収納しないでください。
断線の恐れがあります。



切替スイッチの設定

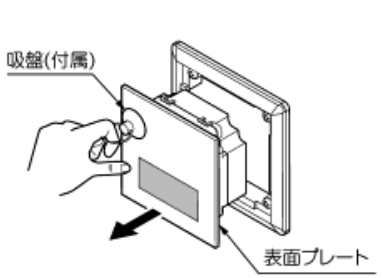
表面プレート裏側の切替スイッチで以下の設定が可能です。各スイッチの切り替えは、精密ドライバー（－）を使用してください。

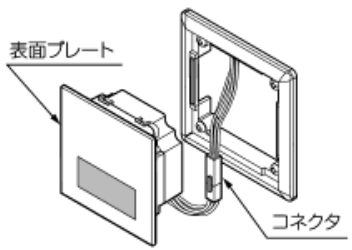
■切替スイッチの設定方法

※ 設定する前に必ず漏電遮断器が切ってあることを確認してください。

❶ 表面プレートに吸盤（付属）を付け、引っ張ってください。
※ コネクタを無理に引っ張らないように十分ご注意ください。

❷ コネクタを外し、表面プレートを取り外します。

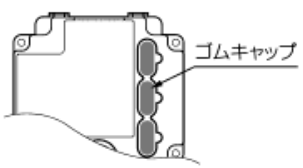




❸ 表面プレートの裏側のゴムキャップを外します。

● タッチスイッチ（OKC-2BP/OKC-2BT/OKC-2BPJ/OKC-2BTJ）の場合
表面プレート裏側

● センサースイッチ（OKC-2SP/OKC-2ST）の場合
表面プレート裏側



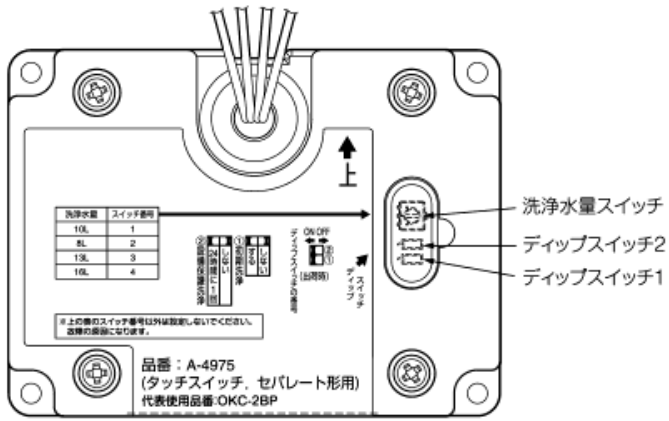
❹ 切替スイッチを設定します。

❺ 設定後、ゴムキャップを付けます。

❻ コネクタを接続し、表面プレートを取り付けます。
コネクタがきちんと接続されていることを確認して、取り付けてください。

タッチスイッチ (OKC-2BP/OKC-2BT/OKC-2BPJ/OKC-2BTJ) の切替スイッチ

● OKC-2BP/OKC-2BT/OKC-2BPJ/OKC-2BTJ（表面プレート裏側）



洗浄水量の設定

洗浄水量は、出荷時「10L」（スイッチ番号 1）に設定しています。取り付ける衛生陶器に応じて洗浄水量を設定します。詳しくは、自動フラッシュバルブの施工説明書「露出形の施工方法」の「6 洗浄水量の設定」をご参照ください。

※ 右の表のスイッチ番号以外は設定しないでください。故障の原因になります。

洗浄水量	スイッチ番号
10L	1
8L	2
13L	3
16L	4

※出荷時は「10L」（スイッチ番号 1）に設定

初期洗浄 (ディップスイッチ 1) の設定

初期洗浄機能は、出荷時「する」(ON) に設定しています。ディップスイッチ 1 を切り替えることで、「しない」に設定することができます。

※ 初期洗浄機能とは、電源投入後一度だけ自動的に洗浄する機能です。

※出荷時は「する」（ON）に設定

切替スイッチの設定（つづき）

設備保護洗浄 (ディップスイッチ 2) の設定

設備保護洗浄は、出荷時「24 時間に 1 回」（ON）に設定しています。ディップスイッチ 2 を切り替えることで、「しない」に設定することができます。

※「しない」に設定した場合、長時間大便器を使用しないと、封水切れを起こす恐れがあります。

※出荷時は「24 時間に 1 回」（ON）に設定

大小判定時間の設定

大小の判定時間は、出荷時「50 秒」（スイッチ番号 1）に設定しています。スイッチ番号を切り替えることで、「120 秒」、「150 秒」に設定することもできます。

※ 右の表のスイッチ番号以外は設定しないでください。故障の原因になります。

大小判定時間	スイッチ番号
50秒	1
120秒	2
150秒	3

※出荷時は「50 秒」（スイッチ番号 1）に設定

自動洗浄タイミングの設定

自動洗浄するタイミングは、出荷時「10 秒」（スイッチ番号 1）に設定しています。スイッチ番号を切り替えることで、「1 秒」、「180 秒」、「自動洗浄なし」に設定することもできます。

※ 右の表のスイッチ番号以外は設定しないでください。故障の原因になります。

自動洗浄タイミング	スイッチ番号
10秒	1
180秒	2
自動洗浄なし	3
1秒	4

※出荷時は「10 秒」（スイッチ番号 1）に設定

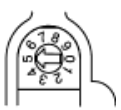
※ 汚物流し（S-203U 等）と組合せる場合は、自動洗浄なし (スイッチ番号 3) に設定してください。取付位置の関係上、自動洗浄に対応できません。

人体感知距離の設定

人体センサーの感知距離は、出荷時「800mm」（スイッチ番号 5）に設定しています。スイッチ番号を切り替えることで、「500mm」、「600mm」、「700mm」に設定することもできます。

※ 右の表のスイッチ番号以外は設定しないでください。故障の原因になります。

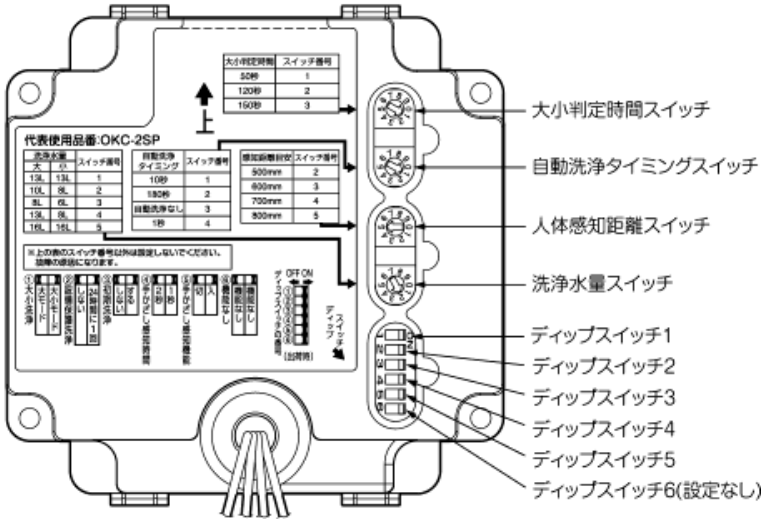
感知距離目安	スイッチ番号
500mm	2
600mm	3
700mm	4
800mm	5



※出荷時は「800mm」（スイッチ番号 5）に設定

センサースイッチ (OKC-2SP/OKC-2ST) の切替スイッチ

● OKC-2SP/OKC-2ST（表面プレート裏側）



切替スイッチの設定（つづき）

洗浄水量の設定

洗浄水量は、出荷時「大 10L・小 8L」（スイッチ番号 2）に設定しています。取り付ける衛生陶器に応じて洗浄水量を設定することにより、高い節水効果が得られます。詳しくは、自動フラッシュバルブの施工説明書「露出形の施工方法」の「6 洗浄水量の設定」をご参照ください。

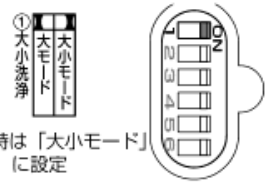
※ 右の表のスイッチ番号以外は設定しないでください。故障の原因になります。

洗浄水量		スイッチ番号
大	小	
13L	13L	1
10L	8L	2
8L	6L	3
13L	8L	4
16L	16L	5

※出荷時は「大 10L・小 8L」（スイッチ番号 2）に設定

大小洗浄（ディップスイッチ 1）の設定

大小洗浄は、出荷時「大小モード」（ON）に設定しています。ディップスイッチ 1 を切り替えることで、「大モード」に設定することができます。

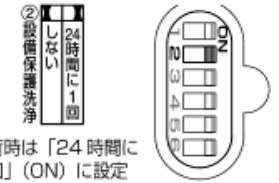


※出荷時は「大小モード」（ON）に設定

設備保護洗浄（ディップスイッチ 2）の設定

設備保護洗浄機能は、出荷時「24 時間に 1 回」（ON）に設定しています。ディップスイッチ 2 を切り替えることで、「しない」に設定することができます。

※「しない」に設定した場合、長時間大便器を使用しないと封水切れを起こす恐れがあります。

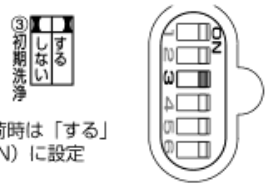


※出荷時は「24 時間に 1 回」（ON）に設定

初期洗浄（ディップスイッチ 3）の設定

初期洗浄機能は、出荷時「する」（ON）に設定しています。ディップスイッチ 3 を切り替えることで、「しない」に設定することができます。

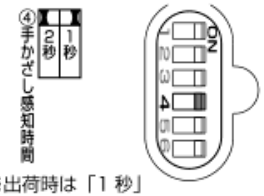
※ 初期洗浄機能とは、電源投入後一度だけ自動的に洗浄する機能です。



※出荷時は「する」（ON）に設定

手かざし感知時間（ディップスイッチ 4）の設定

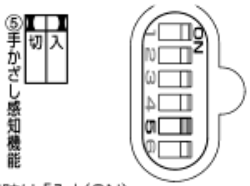
手かざしセンサーの感知時間は、出荷時「1 秒」（ON）に設定しています。ディップスイッチ 4 を切り替えることで、「2 秒」（OFF）に設定することができます。



※出荷時は「1 秒」（ON）に設定

手かざし感知機能（ディップスイッチ 5）の設定

手かざし感知機能は、出荷時「入」（ON）に設定しています。ディップスイッチ 5 を切り替えることで、「切」（OFF）に設定することができます。



※出荷時は「入」（ON）に設定

ディップスイッチ 6 は設定なしです。

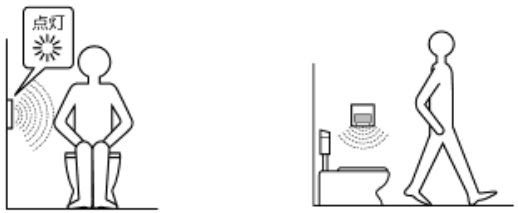
設定なし

取付け完了後の確認

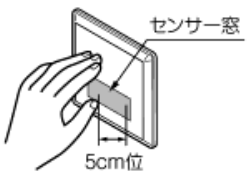
※確認は自動フラッシュバルブとセットで行ってください。

センサースイッチの場合

センサーが使用者を感知すると感知表示ランプ（赤）が点灯します。**6秒以上**点灯させた後立ち去ると、感知表示ランプ（赤）が消灯し、**10秒後**洗浄水が流れることをご確認ください。洗浄開始から10秒間、洗浄表示ランプ（緑）が点灯します。

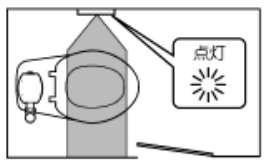


センサー窓から**5cm以内**に**1～2秒**手をかざすと、洗浄水が流れることをご確認ください。
ただし、1度洗浄しますと、ムダな洗浄を防ぐため、その後**10秒間**（洗浄表示ランプ（緑）が点灯している間）は再洗浄できませんのでご注意ください。



感知表示ランプ(赤)
が消灯しない場合

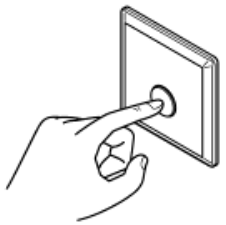
トイレブースの壁や衛生陶器を感知していますので、感知距離の再設定が必要となります。設定方法は「切替スイッチの設定」の「人体感知距離の設定」をご参照ください。ドアを開けたままでセンサーの感知表示ランプ（赤）が点灯する場合にも、感知距離の再設定を行ってください。
それでも感知表示ランプ（赤）が点灯している場合には、ムダな洗浄を防ぐために自動洗浄タイミングを「自動洗浄なし」に設定してください。設定方法は「切替スイッチの設定」の「自動洗浄タイミングの設定」をご参照ください。



使用者に操作方法がわかるように、お取付けの設定状態に合ったシールを選び、センサースイッチ付近の壁面に貼り付けてください。

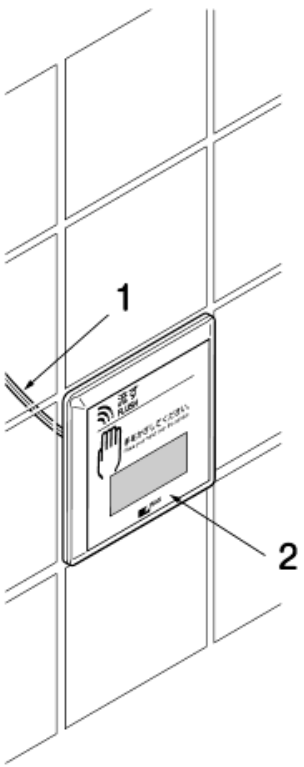
タッチスイッチの場合

押ボタンを押すと、洗浄水が流れることをご確認ください。
ただし、1度洗浄しますと、ムダな洗浄を防ぐため、その後**10秒間**は再洗浄できませんのでご注意ください。



点検項目

取付けが完了した後、次の項目を確認してください。



1 コネクタの確認
コネクタが確実に接続されているか、表面プレートを外して確認してください。

→「コネクタの接続」参照

2 ガタツキの確認
ガタツキがないか確認してください。

●取付板のねじは緩んでいませんか？
→「取付板の取付け」参照

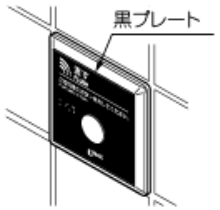
●フレームはしっかり取り付けられていますか？
→「フレームの取付け」参照

●表面プレートはしっかり取り付けられていますか？
→「表面プレートの取付け」参照

オプション品（別売）

■ 黒プレート（品番：A-4974-1）
※ 納品は、受注後 4 週間ほどかかります。

タッチスイッチのプレートを、このプレートに取替えて、周囲との視認性を高めることができます。（プレート色：黒色）



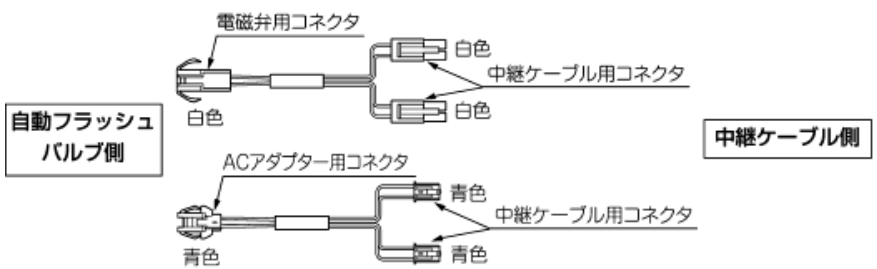
■ 露出形スペーサー（品番：A-5052）

センサースイッチやタッチスイッチを露出形にしたり、既設取替に使用する際のスペーサーです。（下面に露出配線用切欠部付）

■ 併設用ケーブル（品番：A-5053）

センサースイッチまたはタッチスイッチを 2 個まで、併設することができます。
※ 自動フラッシュバルブ本体のカバー内で接続できます。

※ 納品は、受注後 4 週間ほどかかります。



■ 中継ケーブル（10m）（品番：A-4977-10）

センサースイッチまたはタッチスイッチと本体の距離を 10m まで延長することができます。